

団体懇談会（2007.6.1 市役所本庁舎442会議室）：7団体12名

< 経済・労働分野 >

1	広田神社、甲子園球場などの観光スポットはあるのだが、それぞれがネットワークをもっていないのが問題。また、各種イベントもバラバラに開催されており、メリハリのある秩序立った開催が考えられないか。
2	西宮市の行政内部のネットワークや情報化は非常に進んでいるので、これを市民向けに拡げて、産業、観光、商店街、市場の情報提供も出来るようにしていただきたい。
3	地域商店街の活性化には、商工会議所が力を入れてくれており、非常に感謝しているが、商店街のメンバーが高齢化しており、後継者もいなくなってきた。そのため、新しいことをしようとしてもなかなか前に進むことが出来ない。
4	北口に大規模な商業施設が完成することは、地域の商店街のやる気という点からはマイナス。
5	地域ごと、商店街ごとの特色といったものがないので、メリハリをつけた「目玉」を作っていく必要があると思うが、そのための指導者やリーダーが必要。
6	西宮市は環境学習都市宣言を行っているが、環境関連の会議などに、西宮市の行政からの参加がなく不満である。市民の参画・協働を実現するには、行政にもそうした場所へ積極的に参加する姿勢が必要。
7	消費生活の分野で、市がもっと連携、協働する姿勢を見せていただきたい。
8	「阪神間」という100万人が居住するゾーンを、西宮市がまとめてリードしていくというぐらいの自信を持ってほしい。
9	総合計画の策定については、西宮市だけをターゲットにするのではなく、「阪神間は1つ」という広い視野をもって取り組んでほしい。「西宮市は何と何を重視して、何と何は他市に任せる」というような重点化や選択を行うことで、他市と重複するようなハコモノ建設は避けてもらいたい。
10	市民が西宮市に目を向けるような取り組みや、多くの人が集まるように西宮の魅力を発揮していくという視点が大切。
11	市の財政の建て直しが重要だ。
12	西宮市のHPは好評だと聞いているので、今後も広報の充実をお願いする。
13	地産地消や消費者の意識教育といった食育の問題にもっと積極的に取り組んでほしい。
14	農地（生産緑地）が市民農園として活用できるよう、相続税の軽減も含めた税制面での制約の緩和を国に働きかけてほしい。
15	農地や農家の減少に伴い、溝や水路の維持、清掃が大きな負担となってきた。自治会や市にも手伝ってほしい。また、社会勉強の1つとして教育の中での取り組みができないか。

16	市内の産業基盤が安定しないと雇用が安定しない。
17	市にとどまらない、阪神間、全国的な視点からの産業の基盤の確立を考えるべきだ。
18	非正規職員についての問題を総合計画にしっかり位置付けてほしい。
19	雇用は国、県だけの仕事ではなく、市の施策として取り組むべきである。国もそうした方向を示している。
20	第3次総合計画は交付税に救われたが、次期総合計画は国の財政難もあり、非常に財政面で厳しいことが予想される。したがって、特に前期5カ年は、ハードよりもソフトに重点を置いてほしい。
21	地産地消は当然であるが、肝心の作物が出回らない。流通上の問題でもあるが、地元の作物を販売する場所が必要。また、生産者と消費者の意識のズレを埋めていく必要がある。
22	地産地消も良いことだが、中間業者のマージンを考える必要があるだろう。
23	商業団体としての自分達の役割などについて、もっと市民に知ってもらい、地域に溶け込んでいく努力が必要である。
24	西宮のまちのアイデンティティは？と考えると、やはり「文教住宅都市」というものがあげられる。その「文教住宅都市」を突き詰めていくと「究極に住みやすいまち」というものになるのではないだろうか。
25	市政をみていると、ドラスティックな政策がなかなか出てこないように思う。もっとアピールしていてもよいのではないか。
26	市の目標として、文教住宅地区以外のものがあっても良いのではないか。
27	マンションの認可を出す時には、1階を商店、2階に病院といったように、多くの人が利用出来る店舗を入れるようにしてほしい。
28	後継者のいない商店（空き店舗）を他の人に貸すことが可能な制度があると良い。
29	西宮北口には施設が多く出来て、来訪者も多い。そうした人々が利用する店をもっと作ってはどうか。
30	アクタの駐輪場があつという間に満車になってしまう。エビスタのように、有料化も検討して良いのではないか。
31	今のところは、市内の就業者数は増加しており、開業意欲も非常に高いが、今後の動向がどうなるかを見極めていく必要がある。
32	人口が今後どうなるかなど、オープンな情報提供をお願いしたい。
33	ユニバーサル社会の実現に取り組んではどうか。
34	市が、色々な冊子などを多く作っても、手に入れる方法がわからないと思うので、阪神西宮駅に観光案内所を作り、そこで冊子の配布や市内の案内を行ってはどうか。

35

再開発や大型店の出店で、結局は地元商店が排除されている。市は市場原理に委ねずに、まちづくりの観点から、積極的に関与すべきではないか。

団体懇談会（2007.6.8 市民会館特別会議室A）：11団体19名

<教育・文化・スポーツ分野>

1	ガールスカウトへの補助が無くなるという噂があり、憂慮している。
2	阪急の今津線の西と東を比べてみると、西側は色々な施設がある文化ゾーンであるが、東側には施設が少ない。今後、今の違いを明確化していくのか、平均化していくのかを考えていく必要がある。
3	文化振興ビジョンについて、これからの10年でどう実現していくのか、3年区切りで重点目標を掲げるべきである。
4	市民ギャラリー、北口ギャラリーなどの施設間で利用率に格差があるので、施設利用率の見直しを行ない、効率良い運営をしていただきたい。
5	文教住宅都市についてPRが不足しており、市民に充分浸透していないように思う。
6	「人を大切にするまちづくり」をすすめてほしい。
7	命の尊さや生きる力に触れる施設の建設をしてほしい。
8	芸術文化センターなどで、子どもがワンコインで芸術に触れることの出来るイベントを実施してほしい。
9	子ども会の地区割りと校区が整合していないので、線引きを考えてほしい。
10	命を大切にするまちづくりをすすめてほしい。
11	市のバリアフリー化に対する政策・施策は評価しているが、人権に関して、人々の意識の中に差別はまだ残っていると思う。
12	地域での子どもの見守りをしているが、青愛協の地区割りと行政の区割りが整合していないため、活発でない地域もある。線引きを見直してほしい。
13	補助や助成がカットされて、団体の財政面が心配。出来れば少しでも復活をお願いする。
14	子どもの登下校時だけでも警察のパトロールの頻度を増やすなど、防犯と安全を第一に考えてほしい。
15	校舎不足なども問題となっている。マンション建設は何とか出来ないか。
16	甲山高校に通うのにバスが少なくて困る。公立の低下にもつながる問題なので、解決していただきたい。
17	子どもはサッカーと野球が好きなのに、公園はほとんど全部禁止されており、どうしても道路で遊んでしまう。スポーツできる場所を確保する必要がある。
18	緑も大切であるが、防犯の観点から樹木の剪定などを行って見通しの良い公園にしてほしい。
19	防犯灯を増設してほしい。

20	公園遊具の点検をお願いします。
21	阪急西宮北口駅へのバス路線を増設してほしい。
22	まちのトイレが綺麗であれば魅力や印象が良くなると思う。
23	中央運動公園の整備をお願いします。
24	スポーツを通じて市民の健康づくりをしていきたい。
25	体育館等は現在の利用率が高く、今以上に参加者が増えれば場所が不足する。中学校の施設の利用や、市民が気軽に利用できる施設の整備をお願いします。
26	全国規模のスポーツ大会が誘致できる施設整備をお願いします。
27	満足度調査の結果を、分野ごとに今後どうやっていくのか方針を示す必要があるのではないか。
28	バリアフリーの推進、道路の段差解消をお願いします。
29	ボール遊び、球技の可能な公園を校区ごとに作ってほしい。
30	街灯、防犯灯の増設をお願いします。
31	公園遊具の点検をお願いします。
32	北部地域で高校の設置、あるいは南北バスの整備など、教育環境が良くなる取り組みをお願いします。
33	ボーイスカウトのリーダーの確保が大変になってきている。
34	北部地域まで団体の活動の手が回らないのが現状。出来れば南北バスの整備、交通の向上を図ってほしい。
35	船坂でキャンプ場を整備中であるが、市も協力してほしい。
36	南部地域から甲山を通り、北部地域へと抜けるハイキングコースを作ってはどうか。
37	青少年会館のような施設を建設してほしい。
38	リーダーや指導者の育成が課題である。
39	市の財政状況を踏まえれば、施設よりも人の育成などに力を入れていくべきである。
40	人口増加に伴って、とりわけ若い世代が増えており、世代間での意識が全然違うという場面によく直面する。今後、そうした世代間の意識のズレを埋めていくことが必要だと思う。
41	公園での子どものボール遊びの問題は、高齢者や障害者の安全といった、福祉の面も関連してくるということを踏まえて、場所の確保を図ってほしい。

42	スポーツを通じてまちを豊かにしていきたいと考えているので、場所作りをお願いします。
43	北部地域にはある程度の規模の公園が整備されているが、南部地域には中途半端な規模の公園が多い。すぐには無理だと思うが、もう少し規模の大きい公園など、スポーツの出来る場所、施設を10年計画で考えてほしい。
44	若いお母さんとの意識のギャップが激しい。会合などには出席や参加をしないにもかかわらず、自己中心的な文句だけは言うといった悪質なクレーマーが増えており、今後どう対応していくかが課題だと思う。
45	子どもだけではなく、大人も「感謝」の心を大事にしていく必要がある。
46	施設利用の手続き面などで制約などがあり、不便を感じることもある。もっと迅速かつ臨機応変に対応してもらえたら助かります。
47	市議会関連の無駄がまだ多いのではないかと。他の施策に回すべきではないのか。
48	指定管理者制度についての情報などを出来るだけ早く公表してほしい。
49	イベント、事業のPRが遅いし不十分である。パンフレット等を印刷会社が発行し、レストランに置くなど、企業とタイアップして展開するなどの工夫が必要である。

団体懇談会（2007.6.11 市民会館特別会議室A）：17団体23名

<地域・福祉・保健・医療・環境・安全分野>

1	甲子園筋の共同溝整備や無電柱化への取り組みをお願いします。
2	甲子園球場周辺を総合的に再開発していただきたい。
3	防犯灯の整備は自治会の負担が大きくなってきているため、もう少し負担軽減を考えていただきたい。
4	ひったくりが非常に増加している。防犯灯の増設、車道と歩道の分離、見通しを悪くしている街路樹の剪定などの対策をしていただきたい。
5	子どもの安全のために、青色パトロールカーを走らせてほしい。
6	歩きタバコ禁止条例を制定してほしい。
7	交通ルールを守らせる、交通マナーの向上といったものに力を入れていく必要がある。
8	同じようなことを別々の団体が行っているので、全体的な連絡調整が出来る仕組みが出来ないかと思う。
9	NPOが行政と協力しながら力を活かせるような計画を期待します。
10	市民の健康づくりは、行政と医師会だけの力では限界があるので、色々な団体が協力して取り組んでいくことが必要である。
11	西宮のゴミの量が減っていない。ゴミの排出量を減らし、焼却費用を削減することが出来れば、他の施策にそのお金を回すことも出来る。少しずつでも減らしていくという努力が必要。
12	市は「健康づくり21」を推進中だが、「健康重要都市」という都市目標を掲げて、拠点作りや情報提供を行うとともに、それぞれの役割分担などの取り組みを進めていってはどうか。
13	ボランティア活動に、若い世代の参加が少ない問題である。
14	市からの依頼事務が増え、各支部を担当する地域担当者の業務が過重になっている。市の方で増員するなど、対策を講じていただきたい。
15	「身体」などの見える障害に対するバリアフリーはかなり進んでいるのだが、「精神」や「聴覚」などの見えない障害に対するバリアフリーはまだ不十分である。今後は、見えない部分に対してのバリアフリーについても推進、充実化をお願いします。
16	補助金に頼った団体運営の面があり、補助金の削減などは非常に苦しいが、現在の市の財政上仕方が無いと思う。
17	軽度や中度の障害者にも手帳を交付していることが関係しているかもしれないが、人口の増加に伴い、市内に居住する障害者も確実に増加している。しかし、障害者の雇用や住居の面ではまだまだケアが足りていない。

18	「自然に優しい、人にも優しい西宮のまち」を目指してほしい。
19	御前浜、甲子園浜などで、海流の停滞による青潮が発生しており、数多くの生き物の成育を脅かしている。県が調査等を行っているが、市も対策に乗り出していただきたい。
20	川の改修の際、流路周辺に草地を残すことで、ホタルが見られるようになった。今後の改修工事などにおいても、様々な生き物が生息出来る環境を残していただきたい。
21	山や森といった「大きな緑」と、家庭の庭やビルの屋上といった「小さな緑」を守る視点をもっていただきたい。特に、山口、名塩、生瀬と甲山から六甲南麓の豊かな緑は市の宝物であるので、開発と保護の調和をお願いしたい。
22	子どもたちの自然への関心がまだ低い。子どもやその親が自然を楽しむ会等への支援や主催をお願いしたい。
23	指導者の育成、保護者への意識啓発が大切である。
24	地域によって防火に対する意識の差がある。住宅火災警報器設置の促進にもっと積極的に取り組んでほしい。
25	婦人防火クラブについては、全市的な大会を年に1回開催してもよいのではないかな。
26	男女共同参画プランについて、地域における広報、啓発、指導者の育成など、もっと具体的な方針を示していただきたい。
27	まちづくりも大切だが、「ひとづくり」および「子育ての充実」という観点で第3次総合計画には抜けている。「ひと」をもっと重視した計画作りを。
28	私立と公立の保育所で、助成がフェアでない。結果として子どもに対する処遇に差が生じてしまうため、大きな問題である。
29	保育所の民間移管の時期を明確にしてほしい。
30	中核市になることで、各団体にはどのような影響が出るのか教えて欲しい。
31	民生委員や児童委員の役割を地域にもっと認識してもらうことが必要。
32	河川の氾濫が起きないように点検等をお願いする。
33	公民館活動をもっと活発にしてほしい。
34	不法駐車撤去や駐輪の問題について、もっと迅速に対応できないものか。
35	防犯灯が少ない、市営住宅の電灯が暗い。
36	昔のにぎわいのある西宮商店街の復活を願う。
37	自転車の歩道通行に対しては、指導をすべきである。
38	満足度調査の結果より、防災対策が重要だということがうかがえる。

39	花や緑を増やすことは、人間関係にもプラスになる。西宮の山、川、海は大切な財産として守り続けていかなければならない。
40	水が枯渇していつている湿原の保存をお願いします。
41	雨水時のポンプ場から海への直接放流は、海を汚す一因となるため、浄化施設を整備するべきではないか。
42	放置自転車が多いため、早く撤去していただきたい。

地域懇談会 鳴尾（2007.7.9 鳴尾公民館第4集会室）：15名

1	中核市のメリットを説明して欲しい。
2	行財政改善で人員削減を行っているが、人員削減は市民サービスの低下を招くのではないか。
3	民間委託でコストを削減すると言っているが、民間委託によって逆に非効率になる場合もあるのではないか。
4	財政が非常に好転してきている。これまで市民は我慢してきたので、財政の枠内で市民サービスを回復してほしい。
5	自治会に対して行政からの仕事の依頼が多過ぎる。あれもこれもと仕事を持ってこられては困る。
6	自治会の負担が大きいため人員確保が難しい。特に会長職のなり手がおらず非常に困っている。
7	税源移譲、定率控除の廃止等の税制改正で、西宮の財政にどの程度影響があるのか。
8	行財政改善で削減したものの復活を。
9	大規模店舗の進出によって商店街の閉店が非常に目立つ。
10	財政が好転していると説明があったが、震災後3千億を超える借金があったのはどうなったのか。
11	第3次総合計画に都市交通体系の確立とあるが、現時点での市としての自己採点を教えてほしい。
12	キッザニアの西宮進出に伴って、本郷学文筋の都市計画の範囲を拡大していただきたい。
13	枝川地区の道路の幅が狭く、救急や消防といった面で不安を感じるので、対策を講じていただきたい。
14	ららぽーと、甲子園球場、キッザニアと集客施設が重なることで、深刻な交通渋滞が発生することを危惧している。
15	市は行財政改善で原爆被害者への補助金についてもカットしているが、受給していた人から補助を希望する声も耳にする。
16	人件費削減は確かに最も効果があるが、それ以外に収入を増やすような西宮市独自の財源確保計画があってもいいのではないか。
17	白水峡は素晴らしい観光地になり得ると思います。
18	ららぽーとの交通問題は「事業計画が規格に合っていればOK」という市の姿勢が根本にあると思う。地元との話し合いや意見調整等をもっと重視すべき。

19	キッザニアなどの商業施設進出は市の財政的には非常に良いことだと思うが、それに伴って発生する地元負担を充分考慮していただきたい。
20	市は老人会をきちんと管理しているのか。助成金の収支報告をもっとしっかりとしたものにしてほしい。
21	不法駐車は地域で解決しようとしてもトラブルの元になりがちなので、難しいとは思いますが根本的な対策を講じていただきたい。
22	財政の好転は評価するが、現状では中核市になるよりも財政の完全な建て直しが先ではないか。
23	県立の高校が避難場所として使えないので、県に対して何とか使えるように働きかけてほしい。
24	洪水ハザードマップをみると鳴尾地区の浸水深さの予測値は大きい。県に対して武庫川の総合治水を積極的に働きかけてほしい。
25	鳴尾の立体交差が完成した後は、高架下に母親を支援するための保育所や商店を作ってはどうか。
26	都市計画のパブリックコメントに対して意見を出したが、正式な回答が無い。今回の会議もそうだが、意見を出しても回答がなければ非常に残念だ。
27	競輪場跡地の開発では用途変更が出来なかった。周辺地域と調和した計画的な用途地域の指定が出来ないのは残念。
28	ワンルームマンションが建設されると近所付き合いが希薄になるし、治安上も問題が起きやすい。
29	甲子園浜は生き物の個体数、種類が少なくなった。環境保全のための管理棟、管理体制を作してほしい。
30	甲子園浜での花火対策を。
31	キッザニアの西宮進出は東京とは地理的条件が異なる。住宅地に作ると交通渋滞で大変なことになる。
32	日本は鉄道での貨物輸送の割合が先進国の中でも極めて低い。交通渋滞の原因ともなるので、市として国に輸送手段の見直しを提言していただきたい。
33	高須の公園、武庫川の堤防にテントを張って生活しているホームレスの対策を早急に講じていただきたい。国際マラソンのルートにホームレスがいるのは西宮の恥だ。
34	住民との協働を強調しているが、地域コミュニティがそこまで育っていないのが現状。
35	協働に際しては、事務局のサポートと地元の後継者育成が必要。モデル校区の指定や団塊世代の育成などに取り組んではどうか。

36	人を育てることが必要。シニアの居場所作りが地域を活性化することにも繋がっていく。
37	浜甲子園線を甲子園浜まで延伸するという都市計画は望まない。
38	高須は高齢化が進んでおり、子どもが減っている。現在、学校の統廃合があげられているが、統廃合が先にありきではなく、市の考えやその後のビジョンを示していただきたい。それが無理であれば、そうしたことについてワークショップをするという提案が欲しい。
39	大型集合住宅や大型商業施設は鳴尾地区には、もうこれ以上必要ないと感じている。
40	本郷学文筋を拡張してほしい。
41	鳴尾浜産業団地は運送業が増えており、それに伴って交通問題が起きていると思う。
42	甲子園浜団地の建て替えに合わせて、鳴尾川の埋め立てを実施し、車の分散を図っていただきたい。
43	ワークショップを含め、住民の意見を吸い上げるということが非常に難しい。
44	次期総合計画はコンサルが内々で作成するのではなく、住民の意見を吸い上げて作っていただきたい。
45	地方自治法第2条第14項で自治体は最少の経費で最大の効果をあげるよう義務規定がある。その理念に基づいた総合計画を策定していただきたい。
46	自主課税権の行使して、固定資産税の軽減を行っていただきたい。
47	団体要望や議会の要望を聞き過ぎて財政が圧迫されるようなことは無いようにしていただきたい。
48	地域別だけではなく、テーマ別、課題別、男女別、年齢別といった懇談会も行えば、参加する側も参加しやすいのではないか。
49	西宮は歴史的な発展過程を背景にしていない都市なので、時代や経済状況の変化を踏まえたまちづくりをするべき。住民もそのことを認識する必要がある。
50	本郷学文筋の幅を。特に43号線以北は子ども達の通学路でもあり、水路を道路化して安全の確保をする必要がある。
51	今回の会議の発言内容はいつ公開されるのか。出来る限り加工せず、生の声として公表していただきたい。
52	次期総合計画は、文学的な表現は排して、定時・定量的な計画を策定していただきたい。
53	煙草のポイ捨てや駐輪について、モデルケース・モデル地区を作って教育的効果を図ってはどうか。
54	今の総合計画は総花的で抽象的なので、次期総合計画ではどう実現していくのかをわかるような計画にしてほしい。

55	西宮でも高齢化は確実に進行する。現計画であげられている「安心して暮らせる、心かようまちづくり」を充実化して行ってほしい。
56	住みなれた場所から、バリアフリーの住宅へと高齢者が移住できても、コミュニティーが弱ければ、孤独死、孤立死が増加する。対策が必要。
57	住民の声をデータベース化するという計画はどうなっているのか。

地域懇談会 本庁北（2007.7.10 大社公民館講堂）：15名

1	さくら夙川駅の開業については、財政難の中にもかかわらず実現してもらい感謝している。
2	「安全で安心なまちづくり」というフレーズをよく聞くが、本当にそうであろうか。不審者や犯罪者が増えている。個人情報や管理者の問題はあるが、防犯カメラの設置を検討していただきたい。
3	自治会には責任も権限もないと思っているし、そういうスタンスで活動を行っている。
4	警官が不法車両に対して注意をしない。行政も警察も違法なことや問題に対しては、もっと注意や意見を言うべきではないか。
5	広田地区には活動拠点が無いのでいつもアクタを利用している。ただ、高齢者が利用しようとした場合には、地理的に距離があるため、元気な者しか利用出来ない。財政難だとは思いますが、何とか活動拠点の整備をお願いしたい。
6	広田地区は行政区画（支所管区）の狭間であり、様々な情報の伝達ルートが統一されていない。防犯活動などで困ることが多いので、校区単位での一本化をお願いしたい。
7	財政問題が一番気になる。市の財政計画は先延ばしにしてつじつまを合わせているだけなのではないか。根本的かつドラスティックな財政再建をすべきである。
8	違法駐車や違法駐輪対策は、費用面を気にせずにもっと積極的に取り組んで、市民の意識を変える必要がある。
9	赤字再建団体に落ちないように努力していただきたい。
10	銀水橋付近から苦楽園小に通う子ども達は、歩道橋も横断歩道もない県道を渡って通学しており危険。監視員か歩道橋か横断歩道の設置をしていただきたい。
11	マンションのはみ出し駐車が行われているのだが、自家用自動車協会が車庫証明を出しているために、自治会としてはどうしようもない。市の方で何とかできないか。
12	「保護地域」や「禁猟区」ということで、イノシシや猿を野放しにしているため、苦情が多く寄せられている。捕獲などして、住民の不安をなくしてほしい。
13	越木岩地区は比較的落ち着いており、平穏です。
14	苦楽園地区の緑がどんどん伐採されていっている。市民憲章は「みどりと青空の明るいまちにしましょう」と謳っているが、言葉だけで虚しく感じる。
15	条例さえクリアすれば開発が認められるという現状の基準では環境は守ることが出来ない。新しい基準を地域ごとに作り直す必要がある。
16	人口増加をアピールしているが、市としてインフラ整備をどう考えているのか示していただきたい。

17	煙草のポイ捨て禁止条例を制定していただきたい。
18	猿が出没して被害を出している所以对策を講じていただきたい。こうした被害の背景には、山の開発も影響しているのではないか。
19	西宮の街に異様な建物が増えてきている。住環境の整備と保持に真剣に取り組んで、次期総合計画にも盛り込んでいただきたい。
20	酒蔵通りの花水木など、街路樹が枯れたり、荒れたままになっているのを見かけることが多くなった。財政難の影響かもしれないが、街の景観からも再生を図っていただきたい。
21	旧西国街道への車の進入が増えており危険なので、道路改良を検討していただきたい。
22	高齢者が安心して暮らせるよう、安価で利用可能な公共の介護施設を作っていただきたい。
23	防犯カメラを設置して、犯罪者を牽制する必要があるのではないか。
24	171号線がずっと渋滞しており、越水へと迂回する車が増加している。通学路のため危険である。一旦停止の標識を設置してほしい。
25	実際に市内を見回って、一旦停止や信号、標識などを必要な場所に設置していただきたい。
26	都市景観について市が掲げている目標を、具体的にどのように実現していくのか示していただきたい。
27	西宮に転入した際に、「西宮は私学が当たり前」ということを聞いて驚いた。子どもが公立に通っているので、学力面での心配がある。
28	過去に浸水被害を受けたことがある。財政面を見据えつつ、防災・防水対策を強化していただきたい。
29	今回の総合計画策定では基本構想・基本計画・実施計画のすべてを見直すのか。
30	次期総合計画には数値目標や指標といったものを記載するのか。
31	次期総合計画の策定時における財政見通しでは、単年度の収支見込みだけでなく、バランスシートといったものの導入まで考えているか。
32	次期総合計画は道州制を視野に入れて作成するのか。
33	今日は第3次総合計画の計画書やパンフレットなどが貰えるかと思ったが、貰えなかったので残念。
34	次期総合計画の策定委員の公募状況とこれからのスケジュールを教えてください。
35	職員の給与のカットは継続しているのに、議会の報酬のカットをやめたのはいかなものか。

36	播半跡地の建設問題で業者が出している案は地元の意向を踏まえていない。自然河川や建造物は保存していただきたい。
37	緑税を地元にも還元するよう、県へ働きかけていただきたい。
38	西宮大橋以南の臨海部へ行くことがほとんどない。臨海部をもっと親しみやすい場所へと発展させていくような取り組みをしてはどうか。
39	山手線の今後の計画をはっきりと公表していただきたい。
40	甲陽園は公共施設が不足しているので充実をお願いしたい。
41	西宮市はWEB等で、緑の問題や住宅の問題などについて、非常に良い政策や理念を言っているが、実情は条例や規則を最低限クリアすればOKという姿勢でしかない。
42	建築審査は図面のみで行うのではなく、実態として緑の量をどれくらい確保出来るのかという観点で考えていただきたい。
43	山から阪急へと人が流れる。計画や審査は、その対象エリアに限定するのではなく、人や車の流れが下流地域へ与える影響までを検討する必要がある。計画全体としてのプラス・マイナス、下流地域の負担はきちんと考慮していただきたい。
44	播半跡地を流れる水路を埋めてマンションを建設するのは、安全上本当に大丈夫なのか。

地域懇談会 山口（2007.7.12 山口公民館講堂）：10名

1	山口地区には公共施設が無い。山口地区に施設があれば、南北バスの利用率の問題も進展するのではないか。
2	北部人口の人口推計予測が伸びないのは、北部地域への投資が少ないからなのではないか。
3	山口地区が西宮市に併合されて以来、生活圈、経済圏の面から「いつになったら西宮の一部になれるのか」という思いがある。市全体という視点だけでなく、山口地域を今後どうしていくのかという視点に、もっと気を遣っていただきたい。
4	人口の推計結果は過去のトレンドを踏まえているということだが、その結果を増やすか減らすかという政策的な検討が必要ではないか。
5	中野地区で、自治会に話が来る前にモデルハウスが作られ、開発が進められようとしている。
6	市街化調整区域が破壊されていっているため、すみれ台の隣接地区の開発規制を行っていただきたい。
7	生瀬高台で家庭菜園と称されてバラ売りされている土地がある。市街化調整区域の転売等は抑止すべきだ。
8	すみれ台にある20,000㎡の市保有地の利用をどう考えているのか。また、利用する場合には計画段階から住民に説明を行っていただきたい。
9	すみれ台では21:00～23:00のバスの利用者が非常に多いにもかかわらず、運行本数が少ない。
10	高校生のバス通学は、交通費の負担が非常に大きいため、市として何らかの対応をしていただきたい。
11	南部地域と北部地域での、バスの運賃体系に大きな差がある。運営が民間企業であるため難しいと思うが、市として運賃体系のフラット化を働きかけていただきたい。
12	震災前は、「神戸株式会社」と呼ばれるほど、神戸市は立派な自治体であった。西宮も良いところを見習うべきである。
13	市民のためになるなら、どんどん公務を民間へ移管して行ってほしい。
14	「財政がどうあるべきか」、「民間へ移管したらどうなるか」といった考えを常にもって取り組む職員体質を育てていただきたい。
15	南北バスの試験運転で、市はそれなりの調査をすと言っているが、ルートのことだけではなく、色々な面について多角的に検討していただきたい。
16	南北バスの試験運転では、「高校生が乗った場合にどういう利便性があるか」といったデータなども自分達で調査し、市の調査結果と比較したいと考えている。

17	有馬ルートの設定や企業の誘致など、市の南部から北部へと人が移動する方法を導入出来れば、南北バスも経営が成り立つのではないかと考えている。
18	船坂や有馬川に遊歩道を設置するなど、山口の自然を活かすような整備を行っていただきたい。
19	船坂地区の子どもの数をいかに増やしていくかについては、地域でも考えているので、小学校の統廃合については市として公平に判断をしていただきたい。
20	山口地区センターを有効活用していくため、運営面での市民の参加方法などについて教えていただきたい。
21	西宮北インターは知っているが、山口地区は知らないという人が多い。山口地区は西宮の北の玄関だと考えているが、市がそのようにPRしているところを見たことが無い。「山口も西宮の一員だよ」というPRを実施していただきたい。
22	南部地域と北部地域で山口地区に対する市民意識が随分違う。
23	山口地区の人が南部地域にある施設を知らないし、南部地域の人でも北部のことを知らない。
24	バスの券を一律支給するといった施策を実施しても、北部地域では使うところが無いのが現状である。
25	関西は緑化地区が少ないと言われているので、「西宮は緑化地帯を有している」というようなアピールや、緑や自然に関する施設の建設を行ってはどうか。
26	「南部で働き、北部でゆったり」というような、癒し的な場所としての北部地域の役割はどうか。
27	北部地域には職場がないので、若者が街へと出て行ってしまう。交通手段があれば、山口からの通勤も可能になると考える。
28	京都の景観保全是規制が厳しい。山口地区でも景観を保全するのであれば、先手を打って看板への規制を行うべきである。
29	景観保全については、「電柱に看板をつけてはいけない」という協定をすみれ台と市が結んでいるように、地域ごとで取り組むことが可能な部分もあるが、山口全体として考えていかなければいけない問題である。
30	南北バスの問題の発端は高校生の通学費が高いということである。新たな高校建設の費用に比べれば、南北バスの運行で発生する赤字額は小さいはずであるから、たとえ本格運行後に赤字が発生したとしても、運行を継続してもらわなければ困る。
31	南北バスの本格運行後赤字が発生した場合、山口地区が継続してその負担をするのは無理である。
32	南北バスのルートを変更することは可能か。

33	南北バスのルートについては柔軟性を持っていただきたい。
34	南北バスの試験運行と本運行は同じルートでなければならないのか。
35	南北バスのルートに白水峡を含めてはどうか。
36	南部地域から人を呼ぶため、ハイキングコースや施設の建設をお願いしたい。
37	南部地域から人を呼ぶため、青空市場の開催なども良いのではないかと考えている。
38	北部地域の活性化について、南北バスや山口地区センター以外に市として何か考えや計画があれば教えていただきたい。

地域懇談会 瓦木（2007.7.17 瓦木公民館講堂）：10名

1	市は、教育するなら西宮と言っているのだから、教育費にもう少しお金を出していただきたい。
2	英語の教育を市として推進しているのか。英語よりも日本語の教育を先にすべきである。
3	西宮の水道水は、においも無く美味しいので感謝している。
4	この数年の人口増加を見ていると、本当に西宮市は住みやすい街になったのかと思う。建物を増やす、人口を増やすということが市民の幸せにつながるのかということを考えていく必要があるのではないかと。
5	文教住宅都市というものが一体どういうものなのか、市長の認識を聞きたい。
6	人口の予測結果をみると、後期高齢者の伸びが少ない感じがする。また、第3次総合計画の施策体系は後期高齢者に対しての配慮がないように見受けられる。介護の現場で感じるのだが、西宮市は後期高齢者に冷たいのではないかと。福祉をもっと充実してほしい。
7	歳出の中で人件費のウエイトが高い。平成20年度の人件費が跳ね上がるのは何故か。
8	西宮市の公務員の給料は高いとよく耳にする。
9	年金から介護保険料を引かれると生活が苦しいという高齢者が多い。国の政策にそのまま従うのではなく、市として独自の温かい施策をお願いしたい。
10	税制改正で住民税が上がっていることに対して市民は不満を持っている。税を取るだけでなく、財政問題や投資と給付といったことについて、もっと広報していただきたい。
11	広報という観点から、市政ニュースをどれくらいの人を読んでくれているのかということについて、市は関心をもっていくべきである。
12	お金で何でも解決していくというのは無理。心の問題を重視していく時代に来ていると思う。
13	市民館の整備については、「だまっているとやってもらえない」というようなことのないよう公正な運営を要望する。
14	阪急スタジアム跡地の整備については、地域の人々の生活を守るというスタンスで取り組んでいただきたい。
15	人口50万の都市になるのであれば、都市の品格が必要である。
16	高齢者が10万人を超える推計結果になっている。高齢者の移動手段という面からも、阪急武庫川駅の新設を検討していただきたい。
17	ラッシュ時以外の時間帯に走っているバスは、利用客の数に対して大きすぎるのではないかと。環境悪化や交通渋滞の原因ともなるので、中型バスを導入して本数を増やすほうが良いと思われる。

18	中核市の考え方や位置付けと、中核市とマスタープランとの関係について教えていただきたい。
19	地方自治法の基本構想の策定義務に定義付けされている「その地域における」は、支所管区のことを指すのか。
20	中核市への移行はメリットだけでなく、デメリットもあるのではないかと。
21	人口が増えれば公共投資も増える。単に「中核市」といったスタイルを求めるのではなく、市民の生活を考えていただきたい。
22	水道局の財政状況を加えると、市の財政状況はもっと悪い結果が出るのではないかと。水道局は民営化、民間活用していかねば今後大変なことになる。
23	西宮の国民健康保険料が高いと言われているので、各種のデータを検証してみたが、ちゃんとルールに則って運営されている。決して高過ぎるとは思わない。
24	サービスの絶対量を減らさずに効率化を目指すためには、専門的な知識や技能を有した人材を活用していくことが必要ではないかと。
25	阪急の開発によって住民が影響を受けるようでは駄目である。市が直接出来ない対策などは、事業主の阪急が実施するよう厳しく指導してほしい。
26	瓦木分区の社会福祉協議会は非常に一生懸命取り組んでくれているのだが、瓦木地区には児童館などが全く無い。ぜひとも瓦木地区に福祉の拠点を建設していただきたい。
27	新堀川のトンネルは1日4千台、朝だけで1千台もの車の交通量がある。対策を講じてもらわなければ困る。
28	西宮は南北を通っている道路が少なすぎるにもかかわらず、段上線は一向に整備が進んでいない。いつになったら完成するのか。
29	甲子園口の治安が非常に悪くなっている。そのことについては市も広報しているようだが、一般の市民にまで伝わっていないように思う。もっと大々的に広報活動を行ってほしい。
30	何でもかんでも自治会に任せられるので、自治会の負担が非常に大きくなってきている。
31	西宮には自治会の連絡会というものが無い。何故ですか。
32	瓦木地区付近では、今津線、中津浜線、武庫川堤防の3本しか南北の道がなく、そのどれもが狭い。そのため、交通量を捌ききれない。
33	現状で阪急が開発を行えば、今後もマンションが増え、ますます若い世代が流入する。以前から住んでいる者と新たに転入してきた若い世代の間では、どうしても交流が少ないため、治安がどんどん悪化するのではないかと懸念している。実際にひったくりや空巣被害が増加しているので、市は広報の強化に取り組んでいただきたい。

34	ショートステイが出来る介護施設が近くにもう少しあれば利用しやすくなるのではないか。
35	人口増加は結構なことだが、学校や保育所についてはどう考えているのか。
36	マンション建設に対する規制や対策を市民にわかりやすく示せ。
37	累積赤字が増えるようでは市民は納得出来ない。歳出をもっとカットして市民が納得できるような財政運営に取り組んでいただきたい。
38	甲子園地域は交通問題と防犯問題の2つが重要だと考えている。
39	啓蒙活動は費用がかかる。自治会にそういったことを任せるのであれば、市は自治会に対して補助金を出すべきである。
40	武庫川の治水対策をしっかりとこなしてほしい。
41	武庫川の堤防の道にはガードレールが無く、非常に危険である。早急に手を打ってほしい。
42	天道町のJR地下道（瓦298号線）は非常に傾斜が急なため、転倒して怪我をする人も出ている。改修を早急に行っていただきたい。
43	地域で支えてもらいたいという高齢者が増えており、その結果、地域で活躍している人の負担がどんどん増している。さらに、そうした活躍している自治会のメンバーも高齢化していている。今は市から自治会へと多くの情報や仕事が流れているが、現場をみていると、これからどうしていったらいいのかと戸惑いを感じる。
44	住民税は歳入のうちどの程度の割合を占めているのか。また、阪神間で比較した場合にその比率はどうか。
45	西宮市の市職員の月給は市政ニュースなどで公表されているが、決して高いとは思わない。
46	防犯、青愛協、民協など、団体の活動によって地区割りが違うので、効率が悪く、様々な問題が生じる。中核市移行に伴って、地域の区割りを一本化していただきたい。
47	同じ地域内の防犯活動で色々な団体が防犯グループとして別々に申請を行っているのはいかがなものか。
48	自治会が市の下請け機関になっていると感じるが、今後も下請け機関としての位置付けを続けるのであれば、少なくとも地域の区割りは一本化していただきたい。
49	今の地域の区割りは住民の意向が反映されていない。是非やっていただきたい。
50	市会議員の数を減らしてほしい。
51	市議会の政務調査費はいらない。

地域懇談会 塩瀬（2007.7.19 塩瀬公民館講堂）：14名

1	20年来要望している176号線の早期完成実現を。現在、歩道の無いところもあり危険である。住民が安心して使える道路にしていきたい。
2	176号線は一本道であり、もし通行不能になった場合に名塩が陸の孤島となる。名塩と船坂をつなぐトンネルの建設を検討していただきたい。
3	塩瀬地域には坂が多く、バス停が遠い地区もある。高齢者にやさしいまちづくりという観点から、コミュニティバスの導入を検討していただきたい。
4	尼子谷の川が砂利を扱う業者のために汚れてきており、農家が困っている。
5	ホタルが見られるなど、名塩川の環境は少しずつ良くなってきているので、自然に目を向けるという姿勢を今後も大事にしていただきたい。
6	入院可能な病院や高校を新設して、北部と南部の格差を是正していただきたい。
7	塩瀬地区の西の方には、名塩小しか災害時の緊急避難場所がない。全員が名塩小まで行かなくてはならないのか、また、名塩小だけで全員が収容可能と市は考えているのか。
8	176号線は毎日渋滞している。早期に完成していただきたい。
9	県の問題だが、武庫川の改修については、市としても県へ働きかけていただきたい。
10	立派な小学校の建設や、下水の普及率が90%を超えたことについて感謝している。
11	名塩には内科が1ヶ所しかなく、医師も名塩在住ではないため、夜間は医者が不在の地域となる。入院可能な施設があればよいが、財政的な問題もあると思うので、せめて夜間に受診可能な医療機関を整備していただきたい。
12	北部地域と南部地域が分断されており、北部は遅れている気がする。
13	北部地域に住む子ども達は通学に非常に時間がかかっており、かわいそうである。
14	病院に行くために、宝塚、神戸、三田といった他市まで行かなければならない現状である。医療機関の整備をお願いする。
15	町内会が高齢化しており、今後が不安である。
16	開発により緑が荒らされているが、何も手当てされず放置されたままである。
17	最近、中学校の生徒が増加しているようである。人口予測では今後も人口が増加するとなっているが、子どもの数はどうなるのだろうか。
18	小学校は学童保育があるので負担も軽減されるが、幼稚園では11時に帰宅という日もあるため、共働きが無理だということを耳にする。
19	平成19年と平成20年を比較すると、歳入で市税が大幅増になっており、歳出で退職手当が大幅増になっている。具体的な内容を説明していただきたい。

20	行財政改善の取り組みで正規職員を減らしたことは評価できるが、他市で行っている市会議員の数の削減が出来ていない。難しいのか。
21	176号線の早期実現を。
22	人口比からいくと塩瀬地域は全体の12～13%分の行政サービスを受益したいと思うが、なかなか地理的な問題もあるので難しいと思う。そこで、医療や教育面などは、近隣市との連携、業務提携を行って、不足している部分を補完していただきたい。
23	塩瀬地区の派出所は、2万人程度を対象にしており、管轄も広範囲であるため、警官が不在ということが多い。防犯面の問題からも対策を講じていただきたい。
24	歳入面における法人市民税の割合を今後どうしていくのか。努力してどれだけ高めていくのか。
25	塩瀬は自然が多く、東京では考えられない素晴らしい環境である。
26	宝塚まではJRの本数も多く、阪急も通っており便利だが、そこから先のJRの本数が少ない。三田まで行くJRの快速の本数を増やせば、塩瀬地域の資産価値も上昇し、市へ入る固定資産税も増加するのではないか。
27	東山台では保育所の待機児童が40名程度いると聞いている。また、今後は老人介護の施設も必要となってくると思われる。
28	救急車でも宝塚の病院までは30分かかる。病院は本当に必要。
29	南部地域では文化的な催し物が多く行われているが、北部地域では少ない。南部地域までは行くのが大変なので、北部でも開催していただきたい。
30	名塩の立派な公園をもっと活用したら良いと思う。
31	人口の予測をみると、塩瀬の伸び率は非常に高い。特に若い層の転入だと思うが、若い層はなかなかまちづくりというものに関心を持ちにくいし、持ったとしても発信の方法がわからないと思う。若い世代の声をひろう機会を設けていただきたい。
32	西宮の市議会は非常に若い議員と高齢の議員の二極化が進んでいるように思う。子育て世代の声を届けることが出来るか、少し心配である。
33	宝塚のクリーンセンターと業務提携して、西宮市民でもゴミの搬入が出来るようにしていただきたい。塩瀬から西宮浜まで、自分でゴミを持って行かなければならない現状は非常に大変である。
34	道路の整備には優先順位をつけて、信号がある箇所などの最も渋滞が起きている部分から解決していくようにしていただきたい。
35	8月に毎年陳情を行っているので、個別の要望はその時に提出します。

36	セルビオ自治会では、若いお母さんと若い子がたくさんおり、高齢化が進んでいる地区とは少し違った雰囲気なのかなと感じる。保育園がほしい、中学校に通うのに電車に乗らなければならないのは大変、宝塚の高校が目の前にあるのに通えないのが不満といった声を聞いている。
37	西宮市民だからということで、宝塚の病院では予防接種が受けられなかった。塩瀬にも病院を作っていただきたい。
38	歴史と伝統のある生瀬水路の管理を自治会で行っている。市として、今後生瀬水路をどのように位置付けるのか、管理の引き継ぎをどうするのかといったことについて検討していただきたい。
39	地域住民は反対することだけを考えているのではなく、共存共栄の道を選ぼうとしている。マンション開発の際には、認可の前に地域に連絡してもらえないだろうか。
40	昔はホタルの飛ぶ良い環境の生瀬だったが、道路拡幅で側溝を埋めたために多くの生態系が壊れてしまった。将来はホタルの飛ぶ生瀬となるよう努力していきたいと思っている。
41	生瀬大橋が出来たが、その先が出来ていないので、そこで渋滞が発生してしまっている。
42	県道生瀬・門戸荘線の湯本～見返り岩から西宮側の補修が未整備のままである。県への要望等を行っていただきたい。
43	北部地域は南部地域に比べ、病院、教育面で不利を感じる。
44	児童館に行くにも車か電車が必要になる。生瀬に小さくてもよいので施設がほしい。
45	宝塚に予防接種に行ったら断られた。塩瀬地域に病院の整備を行っていただきたい。
46	病院・学校・保育所、あらゆる面において北部地域と南部地域の差を感じる。その差を、もっと市職員に肌で感じてほしい。
47	以前ある課へ要望に行った際、「議会の日程と重なっているため、日を改めて欲しい」ということが3度も続いた。市側が指定した日に再度出向いているのだから、代替りの人が対応するなどの方法もあるはずである。職員は、市民が困って来庁しているということを考えていただきたい。
48	婦人共励会は母子家庭への自立支援を実施しており、感謝している。しかし、行財政改善の影響で共励会への補助金が削減されており、生活のために一日中働いている母親もいる。手を差しのべるような政策をお願いしたい。
49	参画と協働を総合計画に盛り込んでいくには、市民が市に対してどう発信していくかも大切である。
50	高齢者の果たせる役割や高齢者の出来ることはもっとあるということを、市に言ったこともあるが、なかなか実現にいたらない。そういった点も含め、様々な問題を解決していく手法が市民参画条例に盛り込まれることを期待する。

51

将来的には、高齢化によって個人市民税が減収となる可能性があるので法人市民税の税収増を考えていくべきではないか。臨海部の大規模な工業化が無理としても、伊丹市のように内陸部へ工場を誘致するという方法がある。いずれにせよ次期の総合計画では、法人市民税、個人住民税の歳入の将来目標値を示しておくべきではないか。

地域懇談会 甲東（2007.7.20 甲東公民館講堂）：12名＋傍聴1名

1	財政予測が平成20年度まで示されているが、平成21年度以降の財政予測も出来ているはずである。21年度以降がどうなるのかということを示していただきたい。
2	平成20年度の歳出で、退職手当の部分が非常に大きい。市には退職手当に備えた積み立て基金のようなものはないのか。
3	正規職員の数を行財政改善で減らしたようだが、更に減らす計画はあるのか。
4	職員数を減らすと、その分新たに委託料などが発生してしまうのではないのか。
5	第3次総合計画の実績について、市は何%くらい達成したと考えているのか。また、現計画に対する評価や次期総合計画への積み残しについても教えていただきたい。
6	第3次総合計画には「都市交通の確立」とあるが、門戸厄神駅周辺の道路は、全方向から車がやってくるため非常に危ない。今後どのような対策をとっていくのか。
7	樋ノ口町2丁目にある武庫川の堤防から下りる道を直線道路に整備しなおしていただきたい。現在建っている2軒の家を換地すれば、171号線に繋がる真っ直ぐの道となり、非常に便利になる。
8	平成10年に甲東と瓦木を結ぶ道路（瓦木中学校に延びる道）の段差解消が達成されたのはよかったのだが、そもそも初めから歩道が高過ぎるような道路は造らないでいただきたい。
9	甲東小学校校区では児童数が1,000名を超えている。校舎増築などの計画は立てているのか。
10	水路がある道路でガードレールを設置する場合、道路に対して完全に垂直なガードレールはやめていただけないか。自転車に乗っていて車が来た際には、足場にしづらく、車を避けにくい。
11	ノーマライゼーションフォーラムの参加者から、バリアフリーに対応した車椅子の通れる道路が整備された地域の拡大を求める発言があった。
12	上ヶ原では多くの自治会が活動しているが、自治会に属していない人へのお知らせに苦慮している。市の広報だけでなく、地域の情報を貼れる掲示板を設置していただきたい。
13	甲東村が西宮に合併されて以来、上ヶ原には市からお金が一切出ていない。施設も道路も整備されてこなかったのは何故なのか。
14	上ヶ原には50ほどの自治会があり、社協の会合などを行おうと思えば、80～120人規模が収容可能なスペースが必要になる。現在上ヶ原地区にはそのような場所がないので、ふれあい会館の建設を是非ともお願いしたい。
15	上ヶ原では道路問題が深刻である。昨年、関学と神戸水道で大きな工事があり、道が狭いために一方通行の規制などが行われ、地元は非常に迷惑を被った。

16	子どもの安全面から、サッカーや野球の出来る大きな公園があっても良いのではないかと思う。
17	学校のプールで子どもが紫外線を浴びることを懸念している親から、プールに覆いをつけることが出来ないかという要望を受けている。
18	人口を増やそうとしているのか、増やさないようにするのか、市としての姿勢が見えない。そうした市の姿勢が見えなければ、ボランティアなどをしようにもどういう活動がよいのかといったものが考えにくい。
19	トライやる・ウィークやスポーツ21などの県の事業に対して、市は積極的にそれを推進する気があるのか。西宮市は、何をやっても50%、可も無く不可も無しといった市政運営に思える。
20	市民参画条例の策定作業で、市のリーダーシップというものが全く無いことに失望した。公募委員が好きなことを言って条例が出来上がるわけがない。市はもっとリーダーシップを発揮するべきである。
21	そもそも防犯灯の無いところには、防犯協会が無い。そうした地域に防犯活動をしろと言われても出来ない現状がある。
22	甲東園の駅は改札が橋上にあり、わざわざ遠回りする構造になっている。不便な設計だ。
23	阪神競馬場に関連する諸問題を検討するために、宝塚と西宮の市民が交流できる場を設けていただきたい。
24	西宮市に欠けているのは、リーダーシップの育成、リーダー作りである。高校生や大学生、ボランティアの活動をもっと盛んにしていただきたい。
25	地域の祭りへの参加を市が呼びかけてほしい。
26	子どもにも1票があるくらいの気持ちを持って、子どもを大切にすべきである。
27	防犯協会の件ではおかしなことをしている。皆が見ておかしいということを見つけるためには、どこをポイントにしていったら良いのかということを考えていただきたい。
28	18年度に自治会に助成を頂き、一里山に自治会館を建てる事が出来たので感謝している。地域住民が気軽に集まることが出来る施設があるということは、非常に助かるし、便利なことだと実感している。
29	団塊の世代と呼ばれている人達は、退職後、家の中に籠ってしまっている人と、外へ出て何かをしようという人の2つのタイプに分かれてしまっている。家の中に籠っている人が地域へ出て行けるような政策、施策を期待する。
30	老人ホームの中にリハビリ施設や子育て世代との交流施設といったものを作ることで、利用者の認知症も予防することが出来るし、地域の活性化にも繋がるのではないかと考える。

31	定員の関係で老人ホームに入れられないという人が近所にもおり、もっと多くの介護施設が建設されれば良いと感じている。
32	仁川町 2 丁目の団地から中央病院まで直接行けるバスのルートがあればと思う。
33	来年 4 月に中核市へ移行を予定しているにもかかわらず、何故今年の 6 月議会で中核市関連の収支見通しが初めてのように説明されていたのか。新人の議員ならわかるが、以前からいる議員の中にも知らないような素振りを見せていた人がいた。市は、中核市になって発生する事務や、移行によるメリット・デメリットといったものを、これまでちゃんと議会に説明し、きちんと議論してきたのか。総合計画の策定については、そうした説明を早い段階から行うように心掛けていただきたい。
34	人から聞いてこの会に参加したが、市政ニュースにあった募集の記事は、対象を自治会活動をしている人に限定しているように受け取れる。実際、今日の会合も自治会活動をしている人ばかりが参加している。市は本当に市民全体の意見を聞くつもりがあるのか。
35	地域懇談会は、市内 7ヶ所で 20 名ずつということで、多くても 140 名である。これで市民全員と言えるのか。もっとこういった会をこまめに開催していただきたい。また、普段からこういう会を実施していれば、総合計画だからといって、わざわざ開催する必要もなくなる。
36	何故防犯協会に防犯をさせるのか。協会を通じてではなく、市が直接行うべきである。
37	全市の防犯灯に番号をつけたにもかかわらず、それが活かされていない。もっと活用すべきである。

地域懇談会 本庁南（2007.7.24 東館大ホール）：15名＋傍聴1名

1	旧西宮港は海流がほとんどないため、非常に汚れており、悪臭もしている。以前から、埋め立てて緑化地帯にしてほしいと要望をしており、第3次総合計画にも整備計画は載っている。しかし、震災による財政面の影響もあって、いつ出来るのかも全く不明なままになっている。次期総合計画では、実現出来る計画として載せていただきたい。
2	御前浜、香櫨園浜の整備計画を次期総合計画に取り入れていただきたい。
3	臨港線から旧西宮港の西を通る道の歩道整備について、市は以前約束してくれていたが、震災により進んでいない。近年は、西宮浜から自転車でやってくる人も増加しており、子ども達は車と自転車を避けて通学しなければならないため非常に危険である。整備をお願いします。
4	西宮浜北側の広場の整備を早急をお願いしたい。
5	現在の浜脇小の校舎は、完成した当時、新聞で取り上げられるほど素晴らしいものだった。今回の建て替えでも、立派な校舎を作っていただきたい。
6	浜脇、用海地区は西宮市の中心である。にもかかわらず、西宮商店街がさびれてきているので、市はしっかりとした計画を立てていただきたい。
7	西宮市は、六甲山から臨港線まで松林が続いている。これは芦屋にも神戸にもない風景であり、胸を張って良いものだと思う。財政的な問題もあるのですぐには無理だと思うが、いつの日か、西宮大橋、西宮浜の埋め立て地にも植樹していただければと感じている。
8	川西町の旧藤本邸は、市史編纂室の資料置き場から地域の活動スペースになったものの、まだ臨時的な位置付けとされている。正式に地域コミュニティの活動施設としていただきたい。
9	香櫨園留守家庭児童育成センターが子どもの数の増加に耐え切れなくなっている。小学校内に新しい施設を作ると聞いているが、むしろ、香櫨園市民館すべてを育成センターとして利用して、旧藤本邸を住民の利用のために整備するほうがよいのではないか。
10	香櫨園小学校区には11,650人程度が居住しており、そのうちの60%程度が44歳以下という非常に若い地区である。そのため、マンションが増えて幼稚園・保育所が不足している。市立だけでは到底足りず、私立も満員の状況なので、公立の幼稚園・保育所の規模拡大をお願いします。
11	幼稚園や保育園に子どもを通わせた場合、公立と私立では個人負担の差が非常に大きい。親の負担を軽減するために、私立への補助拡充や、私立へ通わせている親への児童手当の増額や減税といった施策を実施していただきたい。
12	香櫨園地区は就学時前の子どもが多く、今後、浜脇小学校と香櫨園小学校へ入学することになる。浜脇小学校は建て替えの予定があるが、香櫨園小学校でも教室が足りなくならないよう市の援助をしていただきたい。

13	津門は、阪急・JR・阪神を利用することが出来る非常に交通の便が良い地区のため、人口が増加している。
14	今津線に山のほうからどんどん車が下りてきているが、道が狭く、舗装も片側なので非常に危険である。立ち退きの問題が途中で止まっているようであるが、道だけはきちんと整備していただきたい。
15	市は、埋め立て地を広く作ったが、ほとんどマンションになっている。尼崎は松下を誘致したが、西宮は産業の招致が全然出来ていない。ハローワークでも西宮はワーストランクに入るくらい職場が少ないと言われている。税の優遇措置をとってでも活力ある企業を誘致し、将来の基幹となるものを作っていくべきである。
16	中央病院は立地条件は悪くないのに年々患者数が減少していると聞いている。逆に民間の医療機関は大勢患者が訪れている。このままでは、建物が古い、設備が古いといっている間に立ち行かなくなるのではないかと。中央病院の今後のあり方を見直ししていただきたい。
17	地域活動の活性力は人にかかっているが、どうしても若い人は地域活動に出てこられない。どのように若い層の参加をうながしていくかというのが今後の課題である。
18	役所の手続きや補助金の申請書類といったものを、あまり難しい内容にせず、わかりやすいものにしていただきたい。
19	特定の世代をターゲットにするのではなく、老若男女が一緒に集え、交流の出来るような施設を、旧社会保険事務所跡地に建設していただきたい。
20	西宮港、今津港は県の管轄であると思うが、大きな津波が来た時に大丈夫なのかといった防災面や、汚水や工場廃水の問題は、地域としても見直していかなければならないと考えている。
21	今津線は歩道が狭い。
22	南の地域へ大型店舗が多数進出している。住民にとっては便利な反面、交通量の増加という問題も起きているので、交通対策を講じていただきたい。
23	今津育成センターは、子ども達の手洗い場が1ヶ所しかないのだが、60名が利用するために喧嘩となる。また、現在障害をもった女子を受け入れており、女子専用のトイレも必要になってきている。手洗い場とトイレを増築していただきたい。さらに、職員の休憩室や更衣室も無いようなので、それらも同時に整備してあげていただきたい。
24	今津西線、東線に大型キャリアカーが増えてきており、子ども達が危険な状態にある。
25	今津の老人いこいの家で、老人給食のサービスを実施している。しかし、建物が古く、バリアフリーにもなっていないので、老人にとっては使いにくい。また、集会をするような大きい部屋も無い。出来れば、老人と子どもが交流できる施設を整備していただきたい。
26	地域活動をしているうえで、補助金の減額されることが心配である。

27	甲子園筋の街路樹が伐採されたり、中津浜線と旧国道の交差点が渋滞しているので、対策を講じていただきたい。
28	中核市になるのは良いけれども、十分県と市と連携してほしい。また、中核市に関連した仕事が増えるにもかかわらず、行財の取り組みで職員が減っているという点が、少し心配である。
29	マンション建設業者に対して地域貢献として、老人と子どもが共に利用できる施設の整備を求めたが、結局何もされなかった。春風の市営住宅は敷地が広いので、建て替えに際して交流施設を整備できないか。
30	市がマンション業者に対して、入居する人が自治会に入るようにと指導していただきたい。
31	公民館に行くにもお年寄りの手段が無い。地域内を循環するような交通手段の必要性を感じる。
32	用海地区は年に200戸程の戸数増が起きているが、主な要因は、南部の酒造業地帯が大規模な団地が変わっていったことにある。そのため、用海地区内における人口分布に大きな偏りが出てきており、現在では、学校の生徒数の割合も、南部が7割、北部が3割となっている。
33	臨港線と用海筋の交差点は500人の子どもが通学のために利用しているが、信号灯が無い。危ないので、信号灯の設置を要望したのだが、2年位かかると言われた。難しいことでもないと思うので、何とか早い設置を働きかけていただきたい。
34	用海地区の南に大型店舗の進出が集中したことにより、交通量が増加した。子どもの安全が心配なので、対策を講じていただきたい。
35	新たに転入してきた人と、既存自治会の交流をもつことが難しい。特に、ワンルームは地域のつながりを持とうとしない作りになっている。国勢調査などでも、オートロックなどで、訪問することすらままならない状況である。西宮は人口増加といっているが、人口が増えるということがメリットなのかデメリットなのか。
36	用海地区の育成センターにおける子育て支援は、これ以上子どもが増えたらパンクしてしまう。
37	幼稚園、保育所の民営化を進めていきながら、子育て支援を充実していただきたい。
38	江上町には子どもが遊びに行ったり、避難場所となるような緑豊かな大きい公園が無い。子ども達がゲームセンターなどに遊びに行っているのを見ると、大きな公園が必要なのではないかと思う。

39	<p>播半跡地のマンション計画は、6月に新たな業者から新計画が提案された。新聞などでは業者が一定の理解を示しているように報道されているが、戸数は減っているものの建物の規模は変わっていない。市は、環境景観条例に基づく指導を適切に行って、環境保全に努力していただきたい。</p>
40	<p>春風公民館が将来民間委託されるのかどうかと心配している。一部公民館が地域へ委託されていっていると耳にしたが、委託される場合には、事前に地域に対して基準などの説明がなされるのか。また、現在いる職員はどうなるのか。もし委託されることになっても、特定の個人や団体が優遇して利用できることなどないよう、公平な運営をお願いする。</p>
41	<p>ゴミ収集が午前と午後の場所がある。午後の収集になると、カラスがゴミを道いっばいに広げてしまい、非常に汚いので対策を講じていただきたい。</p>
42	<p>ゴミの収集作業をしている市職員の不親切さは目に余る。運転は危険だし、収集用のコンテナを投げるなど無茶苦茶である。</p>
43	<p>駅前、特にJRの自転車放置が多い。何とか対策を。</p>
44	<p>475,000人が住む西宮の卸売市場があのもままで良いのか。汚い。市場本来の機能を果たしているか、必要なか不要なのかを検討し、存続させるなら整備をしていただきたい。</p>
45	<p>敬老会行事の廃止についての通知を去年は実施していたのだが、今年は名簿が無いためできない。個人情報保護に縛られすぎな気がする。責任は持つので、名簿を貸していただけないだろうか。</p>
46	<p>次期総合計画は、国や県との関係で実現できないというものがないよう、計画段階から十分配慮していただきたい。</p>

学生懇談会(2007.6.13 本庁442会議室) : 11名

【環境】

1	“川は汚い”というイメージがまだある。もっと川に触れることができれば環境というものがより身近になると思う。
2	自然を残しながら川を整備し、子供たちが川の中で遊ぶことで自然を学べるようにしてほしい。
3	甲子園浜の浜辺をボランティアで清掃する。子供が参加する「西宮の海をきれいにする日」を設けてはどうか。
4	西宮の環境はすばらしいと思う。それを大事にするという意識が市民に乏しい。大学生が参加できる環境プログラムを考えるとおもしろいのではないか。
5	武庫川河川敷にベンチを置くなど、緑が多く、人々がくつろげるような場所を提供することで住民の交流を図る。
6	昔に比べ田畑が減少している。野菜の直販は非常にいいことだと思う。農地は地域住民の幸せにつながると思えるため農業振興が大切。
7	甲子園浜の干潟を守ることで野鳥のバードウォッチングが可能となり、あらゆる世代の人が環境学習できる。
8	西宮の誇りである甲子園球場周辺の環境整備は大切。
9	西宮の自然環境は豊かだと思うが、その良さをもっとアピールする必要がある。

【教育】

10	高校は大学に入るための予備校のようであった。学問というものを学ぶ場所にすべき。
11	家庭の教育や地域の教育が不足しているように感じている。
12	イベントプロデューサーとして、西宮をPRすることを考えている。交流センターはあるが、あまり交流する雰囲気ではない。
13	市民と大学生が交流できる機会があれば良いと思う。日頃研究しているテーマを市民に教えることで自分の為にもなるし生涯学習にもつながると思う。
14	市と大学と企業の3者間でそれぞれ連携すればより活性化できる。企業が学生をインターンシップで受け入れてくれれば地域密着型都市になることが期待できる。
15	外国人留学生在が日本で“さみしさ”を感じたと聞いてショックを受けた。外国人と気軽に交流できる場所や情報の共有が必要。
16	西宮市は人権教育にすごく力を入れていると思うが、まだPR面では不足している。
17	教育では異年齢での交流が非常に重要。地域での教育には学生ボランティアが積極的に参加できる環境づくりが必要と思う。
18	学生の間でも大学交流センターの認知度はまだまだ低いし、充分活用できていない。

19	単科大学ということで、少人数で閉鎖的。もっと他の学部（大学）との交流、交歓が必要とおもう。
----	---

【福祉】

20	核家族では保育所や幼稚園に通う子供が病気になると親の仕事に影響がでてしまう。
21	病気に対する専門のスタッフがいて病気の子供を受け入れてくれる施設があれば。
22	核家族化になり、母親一人に子育てが集中している。地域でケアするようになればと思う。
23	私には、近所の方々に面倒を見てもらいながら育った経験があるが、今は難しくなっていると思う。若い夫婦を応援する施策を進めて欲しい。
24	団地にも一人暮らしの老人がたくさん住んでいる。独居死もあった。身近な団地の集会所で交流が図れるような環境がもてればよいと思う。
25	西宮市は子供の数が増えているようだが、児童館数が少ないなどの面もある。
26	視覚障害者の介護時間は1時間。身体障害者のそれはもっと長く認められている。市としてまだまだ支援する余地があると感じている。
27	大学が高齢者健康科学研究センターをつくり、今年「いきいきフェスタ2007」を開催し交流を図った。大学が主催であるが。そこに市の協力があればよいと思った。
28	小学校の障害者学級を受け持つ先生の人手不足。
29	積極的な情報発信が欲しい。宮っ子の発行回数が減ってしまったのが残念。
30	子育て世代をとりまく実態と現状をもっと把握して欲しい。児童館に授乳室、EVがない。子育て支援のイベントのために、赤ちゃんを抱いたお母さんが3階まで階段で登らなければならない。
31	水遊びができる管理人が側についている公園の整備。
32	高齢者の力を地域に活用できれば良いし、老人が生きがいを見つけられる場所が増やせればと思う。
33	できるだけ待機児童数をへらし、共働きしやすい環境作りが大切。
34	特別支援学級への人員確保は必要。
35	子供や高齢者が集まれる場所が少ないと思う。
36	健康医療については、病院間の格差があると思う。情報交換が必要である。
37	高齢者医療サービスの情報提供が不足しているのではないか。

【都市】

38	国道2号線・山手幹線などで違法駐車が多い。
39	学校からの帰り道が暗くて、引ったくりなどが心配。街灯設置をお願いしたい。
40	放置自転車の状況がひどい。点字ブロックの上に平気で駐輪している。駐輪場が少ないのではないか。
41	背の高いマンションなどで景観が失われてきている。
42	野球開催時の阪神甲子園駅南側は一般者とファンが輻輳し危険な状態になっている。
43	放置駐輪など市民マナーが悪い、市民がもっと景観面にも意識をもつ必要がある。
44	鳴尾駅や武庫川駅前に店を誘致したら学生の利用も多く、地域活性化に繋がると思う。
45	大阪や神戸のような都市化を進めるのではなく、緑の多い西宮らしさを保ってほしい。
46	西宮浜の景観には非常に満足している。
47	上ヶ原のバス道に歩道がないので非常に危険だと思った。
48	とにかく道が狭い。特に門戸厄神駅周辺が危険。バス道で歩道がない箇所は危険。
49	身近なところで引ったくりなどの犯罪が起きている。
50	球技ができる公園があればと思う。
51	グラウンドや体育館などがあるスポーツ複合施設。
52	甲子園浜のバーベキューシーズンでは駐車場が足らなくなっている。
53	公園に隣接している道路を通行する時は子供の飛び出しなどがあり危険を感じる。
54	堺市に比べて、西宮は環境が良い。

【行政運営】

55	西宮では学生の芝居や公演がやりづらい。県立芸文センターなどは気軽に使用できない。現状は尼崎の施設を利用している。ピッコロシアターのような施設を。
56	大学交流センターのことをもっとPRして欲しい。もっと交流できるように喫茶コーナーなどもあれば良いと思う。
57	公園の遊具点検など充実して欲しい。子供が遊べる屋内施設があれば良いと思う。
58	市民の声を大切にしたい市政に努めていただきたい。
59	地域と大学が交流し、活動できる場所（施設など）があればと思う。
60	宮っ子の内容を充実し発行回数を増やして欲しい。
61	公民館・児童館に外国語案内が必要になってきていると思う。
62	交番所に警察官の方がいない。

63	以前と比べ、サービスセンターなど窓口対応が親切で非常に良かった。
64	「市のHPに載っているから」では、なかなか伝わらない。もっと積極的な情報発信が必要と思う。
65	水道水の高度浄化（高度処理）。
66	市民税が高い。
67	東南アジア系の人も増えているため、東南アジアにも姉妹都市が欲しい。
68	西宮浜では、夕方になると診療してくれる医院が無くなる。

N P O懇談会（2007.6.12 東館804）：6団体6名

1	人口増はマンションの増加が影響しており、少子高齢化になればマンションが空洞化してしまう危険性がある。建て替えが困難なため、今後は地域ネットワークを充実し住宅ストックをいかに活用化していくかを考えていかなければならない。
2	N P O間でのネットワーク作りをしていくことが大事。
3	公民館は地域の拠点なので、講座事業などを見直し今以上に活性化を図ってほしい。
4	「参画と協働」と言われているが、フレーズだけが先行してイメージが沸きにくい。もっとより具体的でわかりやすい仕組みを早急に提示してほしい。
5	「協働」ということに対して、市の組織ごとに認識や距離感が異なるため、N P Oとしては非常に活動しづらい。組織全体としての共通認識を作してほしい。
6	N P O側も協働に対する理解に差があるし、行政側もN P Oに対する認識や理解が乏しい。その結果、特定のN P Oと特定の部署が密接になりがちであり問題だと思う。
7	市内にあるN P O全体の底上げを図って欲しい。その際、行政側は市民交流センターを中心に考えているようだが、市民交流センターがそこまで出来るのか？と疑問に思うし、そこまでやらなければいけないのか？とも思う。
8	N P Oから色々な意見や案を提示しても、市側は受け入れてくれない。
9	今の若い親の教育力が極めて低いことを非常に憂慮している。
10	高齢者と若い親の接点がない。公民館や市民館、児童館など、どこかに継続した常設の交流の場を作してほしい。
11	市内には立派な施設や個別の活動がいくつもあがるが、それぞれがバラバラに運営されている。1つ1つの施設の連携が出来ればもっと色々な可能性が生まれるのではないかな。
12	満足度調査の結果で全て判断してよいのか。結果の取り扱いには注意が必要である。
13	西宮市は工業・製造業が全然優先されていない。ただ、お菓子作りは非常に元気。
14	お年寄り子どもが交流出来るようにしてほしい。
15	市の財政再建が甘い。赤字を減らしたとっているが、歳入歳出差引の赤字を支出の1%程度残しているのは理解に苦しむ。10%とかなら無理だとわかるが、わずか1%も改善出来ないのか？民間では有り得ない。
16	満足度調査の調査結果で、「満足度が低く、重要度が高い」分野で活動するN P Oも増えてきているので、財政上の面からも連携を図っていくと良いのではないかな。
17	N P Oの増加につれ、怪しいN P Oも増加している。N P Oの信用を保障するような制度が出来ないだろうか。

18	西宮市は事務事業評価を実施しているが、事業や課に対する評価を市民が出来る仕組みもあればよいと思う。
19	「サービスを維持しながらコストを下げる」には、ボランティアを活用していくことが有効だと思う。
20	総合計画の策定にあたっては、市民と職員が話し合える機会が必要。職員がNPO活動のことをより理解することにも繋がる。

商工会議所（2007.7.17 商工会議所）：18名

1	隣接して、順次小規模開発事業が行われる場合、個々の事業の完了、継続にかかわらずこれらの事業を1つの開発事業として取り扱い、必要な道路幅員を確保するよう指導すべきではないのか。
2	西宮北有料道路については、県道路公社として、工事費の償還が終われば通行料の無料化、あるいはもう1本トンネルを掘るなどの対応をすべきである。
3	策定委員会のメンバーに商工会議所等の団体も入れるべきではないか。
4	次期総合計画には、産業について十分な記述をすること。
5	公共工事をもっと実施してほしい。5年位先には市営住宅の改善が始まるとの話を聞いており、期待している。
6	人口が増えるが対策は大丈夫か。保育所の待機児童の解消をお願いする。
7	高齢化が進むと高齢者が車で外出、移動することが困難になる。坂道の急な地域を中心にコミュニティバスを走らせることを考えるべきである。
8	文教住宅都市は、西宮市にピッタリの都市目標であり、これを崩さないようにしてほしい。
9	都市計画、まちなみ、景観に配慮したまちづくりを進めてほしい。
10	市は、企業誘致に乗り気ではないのではないのか。
11	阪急北口駅周辺の山手幹線より南側での区画整理はどう考えているのか。
12	西宮のシンボルである甲子園球場は、多くの人があるが滞留しない、滞留する方策を考えるべきではないか。
13	商店街の後継者難を何とかしたい。
14	文教住宅都市といえども商店街が必要。面白い商店街にしていきたいが妙案がない。
15	建物の高さ制限、壁の色の統一など都市景観面での特色あるまちづくりを進めてほしい。
16	ゆとりのある街路樹、イベントの開催など、歩いて楽しい特徴のある道路整備を。
17	札幌筋や夙川駅周辺の信号機の点滅時間をもっと実態に即した時間に変更することについて、市も働きかけをしてほしい。
18	市は、震災時に事業者にどんな協力を求めようとしているのか、事前に明確に知らせてほしい。
19	山手線について、関係の看板が見当たらなくなっているが、事業の見通しはどうなっているのか。
20	地図混乱地域解消のため、全市の地籍調査を実施してほしい。

21	子どもの安全について、通学路に看板を設置するなど協力できることは協力する。
22	競輪場は他府県から人が来てお金を落としていった。こんな施設があるのではないか。

市民意見 8名

1	社会全体がデジタル化され、手作り感がなくなっている。
2	介護や障害の認定審査までコンピューターで処理されている。
3	地域にある地元の病院でもリハビリ治療ができるようにしてほしい。
4	アルコール依存症に対処する機関をつくり、行政も積極的な防止に努めるべき。
5	駅周辺の植え込みなどで、きれいな部分と汚ない部分がある。（管理者が異なるかもしれないが）同じ駅周辺なのに配慮がたりない。
6	沿道のお店を利用する客の路肩駐車ですべて歩道が占領されたり、バスの運行に支障があり交通事故の原因になる。根本的に何とかならないものか。
7	”世界人権宣言”の基本理念に沿って人間としての尊厳が尊重されること。
8	市内の公共施設、公共交通機関、大・中規模小売施設には諸外国語の表示を推進してゆくこと。
9	自然環境を守るといいながら、苦楽園周辺の開発が進められ自然が失われている。
10	苦楽園小・中学や西宮北高校横を開発行為のダンプトラックが行き交う現実を認識すべき。
11	名塩南台中央公園の管理について（大人のソフトボールを許可しているのか）。
12	西宮の子育てに不安をかかえている。
13	保育園への補助金減額（一時保育料が相当高くなった）は『子育てするなら西宮』に逆行した施策です。
14	公立高校入試の問題（総合選抜制）もルールが変更されたようだが、遅い気がする。
15	『子育てするなら西宮』なのに市立中央病院に産科がないこともお粗末です。
16	無作為抽出の市民アンケートはいいことだと思う。次回はぜひ『子育てに関して』のアンケートを実施してほしい。
17	甲陽園駅前の渋滞や事故などの交通事情と甲陽園住民の高齢化に対応するため、小型シャトルバスの巡回運行が必要。
18	高度浄水施設の整備、学校の冷暖房完備、国民保険料の値下げといった市民の命や生活に直結する部分に投資する計画とすべき。
19	無駄な箱物に税金を使うのは一切やめるように。

職員意見 16名

1	平和で誰もが安心して生活できる町こそが、理想的なまちであると思う。
2	社会の常識的なルールを市民が守らなければ、安全安心なまち造りは不可能。
3	当市民および当市に関わりのある社会人・学生が他人に迷惑をかけないという自由を遂行することが理想のまちに近づく。
4	『e-市民塾』の立ち上げ - 生涯学び続ける文教学習都市としてのWEB創生事業 -
5	生涯学習のための情報プラットフォームを整備し、市民が学び続けやすい環境を整える。
6	学ぶ意欲のある市民に対し、教える意欲のある市民がサービスを提供できる機会を作る。
7	世代を超えた活発な生涯学習が行われる社会を作り、文教学習都市としての性格を強くする。
8	西宮市には約680本の『水路』がある。地域に密着している『水路』を活かした災害に強いまちづくり計画を提案する。
9	商業地域・近隣商業地域以外での大規模マンションの建築規制と緑地化政策の推進。
10	各家が一つの墓石を持つのではなく、多額の費用を必要としない環境にやさしい市民共通の霊園を希望する。
11	人口増加に伴い『緑』の減少が目立つ。これからは、いかに『緑』を残すまたは増やすという計画が必要。
12	総合計画について、まず職員に関心を持ってもらい、利用しやすい総合計画にする必要がある。
13	総合計画、組織計画、財政計画、行政経営計画を結びつけた体系の確立が必要。
14	総合計画の基本計画期間は5年を標準とし、市長公約との不整合を少なくする。
15	総合計画に関する職員向けの説明会・研修等を充実する。
16	市民の参画と協働のもとで策定し、できるかぎり多くの市民、企業、団体などの意見を取り入れるべき。
17	総合計画の期間は市長の任期である4年をベースとし、4年或いは8年で定め必要に応じて見直しする。
18	市民などで「まちづくり基本方針（仮称）」を策定し、これを市の最高基準にする。
19	実施計画の事業内容、査定内容、事業評価などはすべて公開し、パブリックコメントの意見を尊重する。
20	マンション建設などで貴重な緑地が消失した。

21	高層ビルの増加で、六甲の山並みや海が見えにくくなり街の魅力が減少している。
22	マンション開発などについては、市がリーダーシップを発揮して抑制や規制強化を行うべき。
23	緑の保全については、今ある森や林をいかに守ってゆくかに努めるべき。
24	南北交通の充実。阪急今津線の南北直結を復活（高架化）・西宮北口 甲子園間の路線バス（中津浜線経由）
25	まちの無電柱化を推進。諸外国と比較されている日本の悪い点に「道路横断の電線」「電柱の乱立」が上がっている。
26	まちづくりではハードよりソフトを合言葉に。
27	引き続き厳しい財政運営を強いられるなかでは、新規ハコ物建設は計画すべきでなく堅実なまちづくりに徹するべき。
28	計画する事業と費用総額を明確にし、市民に示し判断を求める。また、実施時にも再度意見を聞くシステムの確立。
29	良好な自然環境と高い利便性が両立する質の高い住宅都市としてこれからも生きてゆくべきである。
30	市民から青空を奪い、景観を壊す超高層マンションなどの高層マンション群の規制に努めるべき。
31	これ以上の大型商業施設は不用。高齢者が気軽に買い物ができる環境を整備するべきである。
32	既存不動産を活用した小規模店舗の集積と”祝祭空間”の創造で「にぎわい」のあるまちを形成する。
33	武庫川河川敷のより積極的なスポーツ活用を図る。
34	自然と調和した良好な住環境をつくり、持続させる。
35	子ども、お年寄り、社会的弱者を含めて誰もが安心して住み続けられる。
36	今以上の人口増は抑制し、グローバルな視点から「持続可能性」と「循環型」な地域社会を市民的に考える。
37	大胆な手法を含めたマンション建設規制が必要。
38	今以上の大型店舗は規制し、お年寄りが歩いて買いに行ける小売店を大切にすまちにする。
39	貧困と格差是正に本格的に取り組み、具体的に計画に盛り込むべき。
40	堅実な財政運営と財政の裏付けの無い事業は実施しないなどの事業採択のしくみづくりが必要。

41	環境都市の推進は農村交流を基軸にし、市民と一緒にあって都市側からの交流を考えるべき。
42	都市間競争や地域間競争の繰り返しでは共倒れにつながる。
43	少子高齢化が進行する社会で求められるのは、歩いて暮らせるコンパクトな空間構造である。
44	地域内に散在する小規模商業集積の育成・保全に努めるほうが地域内還元の効果が大きい。
45	自動車交通を前提とした都市開発は、少子高齢化社会では必ず破綻する。
46	農作物の直売所など市場外流通ルートの見直しが商店街再生と結合すれば、地産地消の促進、都市農業振興につながる。
47	コンパクトな都市空間のあり方からみて密集区域の職・住・工（農）の用途混在も少子高齢社会では意義がある。
48	総合計画について、市民・職員ともに周知されていない状況を改善する必要がある。
49	全体の構成を明確にし、余分な情報や表現をそぎ落とすことで将来の都市像がイメージでき、市民にも参画が望まれてると感じてもらえる。
50	環境については、「3つのR」のうち、リデュース（ごみを減らす、作らない）が本当のエコロジーだと思う。